田川市　循環型社会形成推進地域計画

田川市

令和３年１２月　　作成

令和５年　３月３０日　変更

令和５年１２月１８日　変更

【　目 次　】

1　地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項
⑴　対象地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
⑵　計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
⑶　基本的な方向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
⑷　広域化・施設の集約化の検討状況・・・・・・・・・・・・・・・・1
2　循環型社会形成推進のための現状と目標
⑴　生活排水の処理の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
⑵　生活排水の処理の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
3　施策の内容
⑴　発生抑制、再使用の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
⑵　処理体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
⑶　処理施設等の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
⑷　施設整備に関する計画支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・5
4　計画のフォローアップと事後評価
⑴　計画のフォローアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
⑵　事後評価及び計画の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

<資料>
対象地域図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
処理形態別人口の予測値・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
し尿及び浄化槽汚泥の排出量の予測値・・・・・・・・・・・・・・・・9
循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表１（様式１）・・１０
指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ・・・・・・・・・・１３
地域内の施設の現況と予定（位置図）・・・・・・・・・・・・・・１４
循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表２（様式２）・・１４
地域の循環型社会形成推進のための施策一覧（様式３）・・・・・１７
施設概要（し尿処理施設関係）【参考資料様式６】・・・・・・・１８
施設概要（浄化槽系）【参考資料様式７】・・・・・・・・・・・１９
計画支援概要【参考資料様式８】・・・・・・・・・・・・・・・２０

1　地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

⑴　対象地域

構成市町村名　田川市

面　　積　５４．５５㎢

人　　口　４６，５２８人（令和３年３月３１日現在）

過 疎 地 域

⑵　計画期間

本計画は、令和４年４月１日から令和９年３月３１日までの５年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

⑶　基本的な方向

田川市の生活排水の処理に係る基本方針は、平成２８年度に下水道による集合処理から浄化槽による個別処理へと方針転換し、令和元年４月から独自で創出した新たな浄化槽整備事業を実施しており、浄化槽による汚水処理人口普及率の向上を図っている。なお、令和２年度には、コミュニティ・プラント処理区域及び市営住宅等の大型合併処理浄化槽処理区域を含め、市内全域を「浄化槽処理促進区域」として指定している。

⑷　広域化・施設の集約化の検討状況

令和２年度までは、田川地区清掃施設組合（田川市及び川崎町）が管理・運営を行う「乙女環境センター」においてし尿の処理を行ってきたが、令和３年度からは、田川地区広域環境衛生施設組合（田川市、香春町、添田町、川崎町、糸田町、大任町、福智町及び赤村）が管理・運営を行う「田川地区クリーンセンター」において広域処理している。

2　循環型社会形成推進のための現状と目標

⑴　生活排水の処理の現状

令和２年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は図１のとおりである。生活排水処理対象人口は、全体で46,528人であり、汚水衛生処理人口（令和2年度現在現に汚水処理施設に接続されている人口、以下同様。）は、２９，７１９人、汚水衛生処理率６３．８７％である。

し尿発生量は、１７，７５０kl／年、浄化槽汚泥発生量は、３２，０３４kl／年であり、処分量（＝収集・運搬量）は、５２，３４３kl／年である。

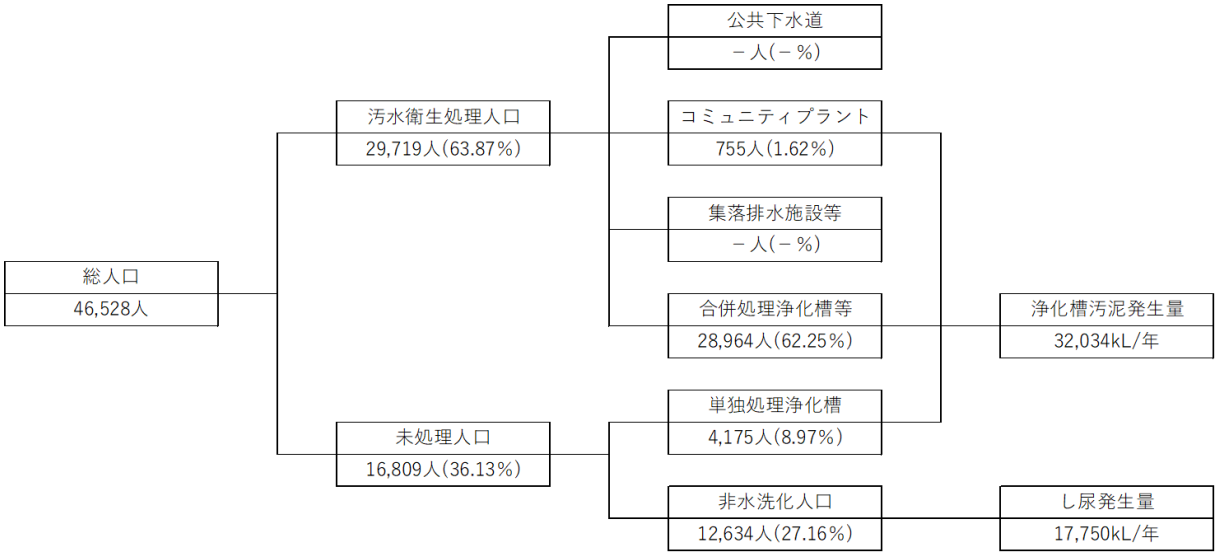


図１　生活排水の処理状況フロー

⑵　生活排水の処理の目標

生活排水処理については、表１に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表１　生活排水処理に関する現状と目標

		令和３年度実績	令和９年度目標
処理形態別人口	公共下水道	－人（－％）	－人（－％）
	コミュニティ・プラント	755人（1.6％）	720人（1.6％）
	集落排水施設等	－人（－％）	－人（－％）
	合併処理浄化槽等	28,964人（62.3％）	34,572人（77.0％）
	未処理人口	16,809人（36.1％）	9,586人（21.4％）
	合計	46,528人（100.0％）	44,878人（100.0％）
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	17,750キロリットル	9,925キロリットル
	浄化槽汚泥量	32,034キロリットル	36,034キロリットル
	合計	49,784キロリットル	45,959キロリットル

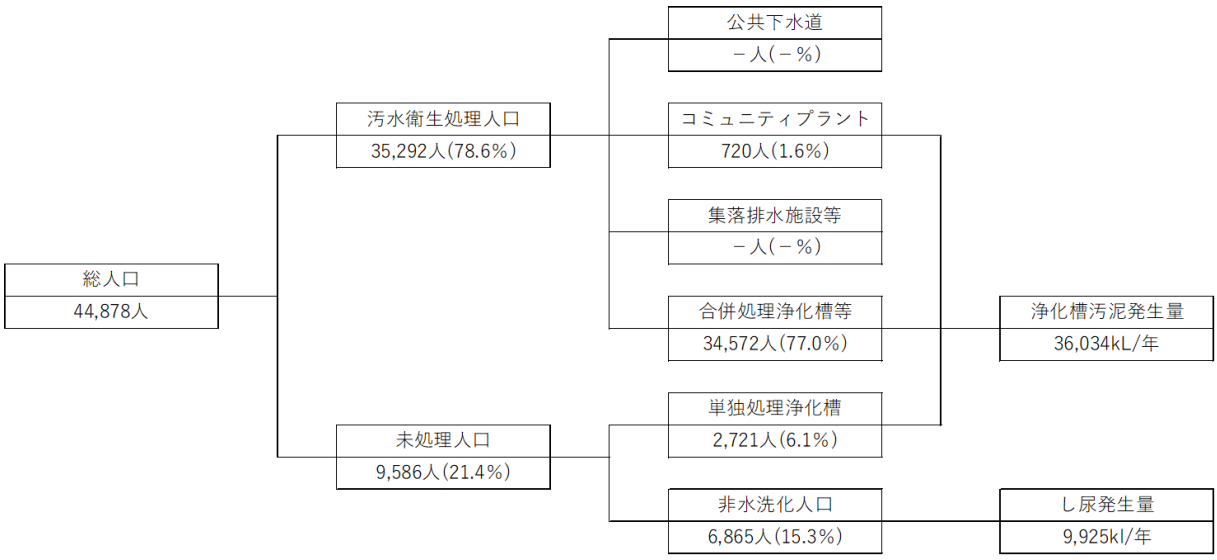


図２　目標達成時の生活排水の処理フロー

3　施策の内容

⑴　発生抑制、再使用の推進

公共用水域の環境保全を目的として、生活雑排水の適正処理に関する啓発を推進する。

１－１　合併処理浄化槽への切り替え

くみ取り便槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進するため、転換に限って浄化槽設置に対する補助制度を手厚くし、ホームページや広報に合併処理浄化槽の設置に関する情報を発信する。

１－２　家庭での取組推進

公共用水域の環境保全のため、水にやさしい生活を送るための情報を、広報やチラシ等を活用し、より広く発信する。

また、地域学習や環境教育の場において、水環境の現状を理解してもらえるよう家庭等での取組を推進する。

１－３　水洗化の普及・啓発

合併処理浄化槽を設置することの必要性について、公共用水域の環境保全と関連付けた広報等を行うことにより、水洗化の普及・啓発を推進する。

１－４　業者との連携

法定検査を含む合併処理浄化槽等の適正な維持管理の重要性について、維持管理業者等と連携して情報交換を行う。

⑵　処理体制

２－１　生活排水処理の現状と今後

市内全域を浄化槽処理促進区域として指定していることから、合併処理浄化槽の設置を推進する。

なお、平成４年度から開始した浄化槽設置に対する補助制度は、令和元年度から転換に限って補助対象の拡大と補助金額の上乗せを行うなどの拡充を図り、令和１０年度末の汚水衛生処理率８０％を目指す。（平成３０年度末６１．５％）

２－２　今後の処理体制の要点

老朽化したコミニティ・プラントの処理施設の更新を行う。

⑶　処理施設等の整備

ア　廃棄物処理施設

星美台地区で発生する汚水の適正処理を行うため、表２のとおり必要な施設整備を行う。

表２　整備する処理施設

事業番号	整備施設種類 施設名	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間	国土強靭化
1	コミュニティ・プラント	星見台汚水処理場改築事業	250 ㎥/日	田川市大字糒1700番地404	Ｒ5～Ｒ5	―

※地域内の施設の現況と予定は、添付資料４を参照

（整備理由）

事業番号１　施設の老朽化、省エネルギー化

イ　浄化槽

浄化槽の整備について、表3のとおり実施する。

表３　合併処理浄化槽の整備計画

事業名	直近の整備済基数（基）（令和2年度）	整備計画基数（基）	整備計画人口（人）	事業期間	国土強靭化
浄化槽設置整備事業	239	1,628	4,928	Ｒ４～Ｒ８	田川市国土強靭化地域計画
その他地方単独事業	15	182	0	Ｒ４～Ｒ８	―
合計	254	1,810	4,928		

⑷　施設整備に関する計画支援事業

⑶の施設整備に先立ち、表４に示す計画支援事業を行う。

表４　施設整備に関する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
2	星見台汚水処理場改築事業	生活環境調査（環境アセスメント）業務星美台汚水処理場改築設計委託業務	Ｒ４～Ｒ４

４　計画のフォローアップと事後評価

⑴　計画のフォローアップ

田川市は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、福岡県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

⑵　事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

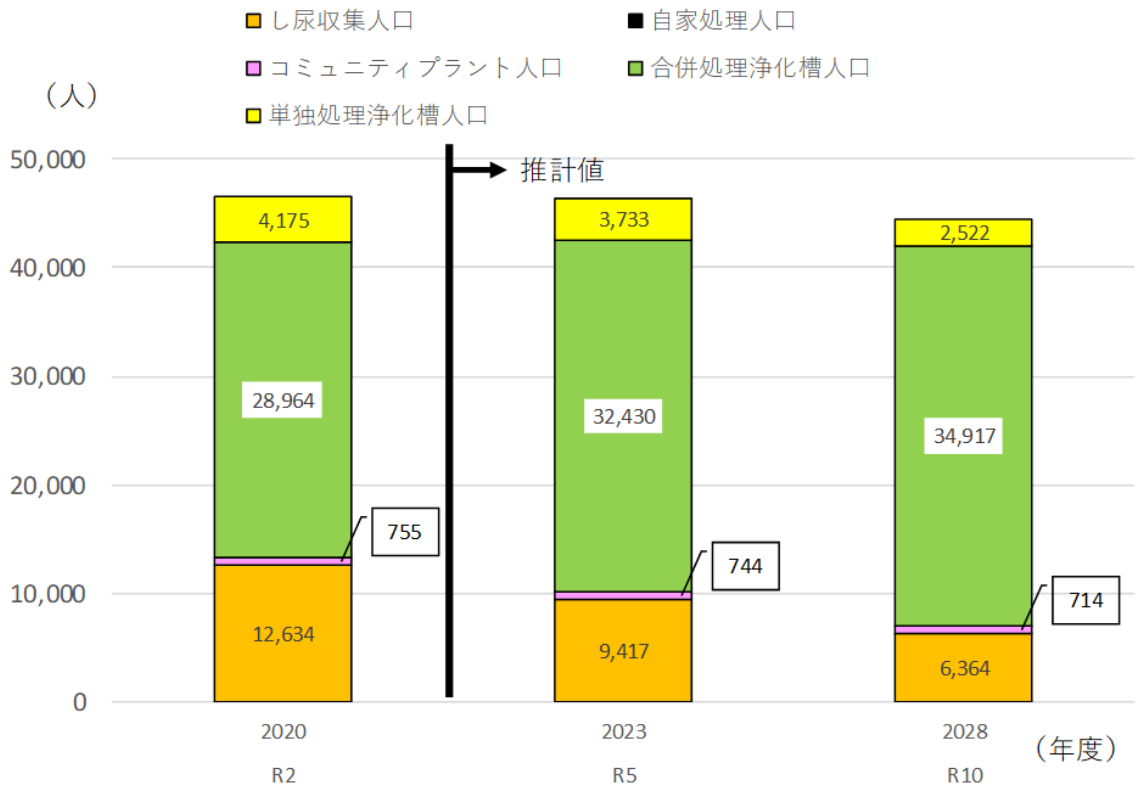
■添付資料１　対象地域図

中間市
北九州市
鞍手町
苅田町
直方市
宮若市
小竹町
福智町
行橋市
香春町
糸田町
飯塚市
田川市
みやこ町
大任町
赤村
桂川町
川崎町
嘉麻市
添田町

■添付資料２　し尿・浄化槽汚泥処理目標の設定に関するグラフ

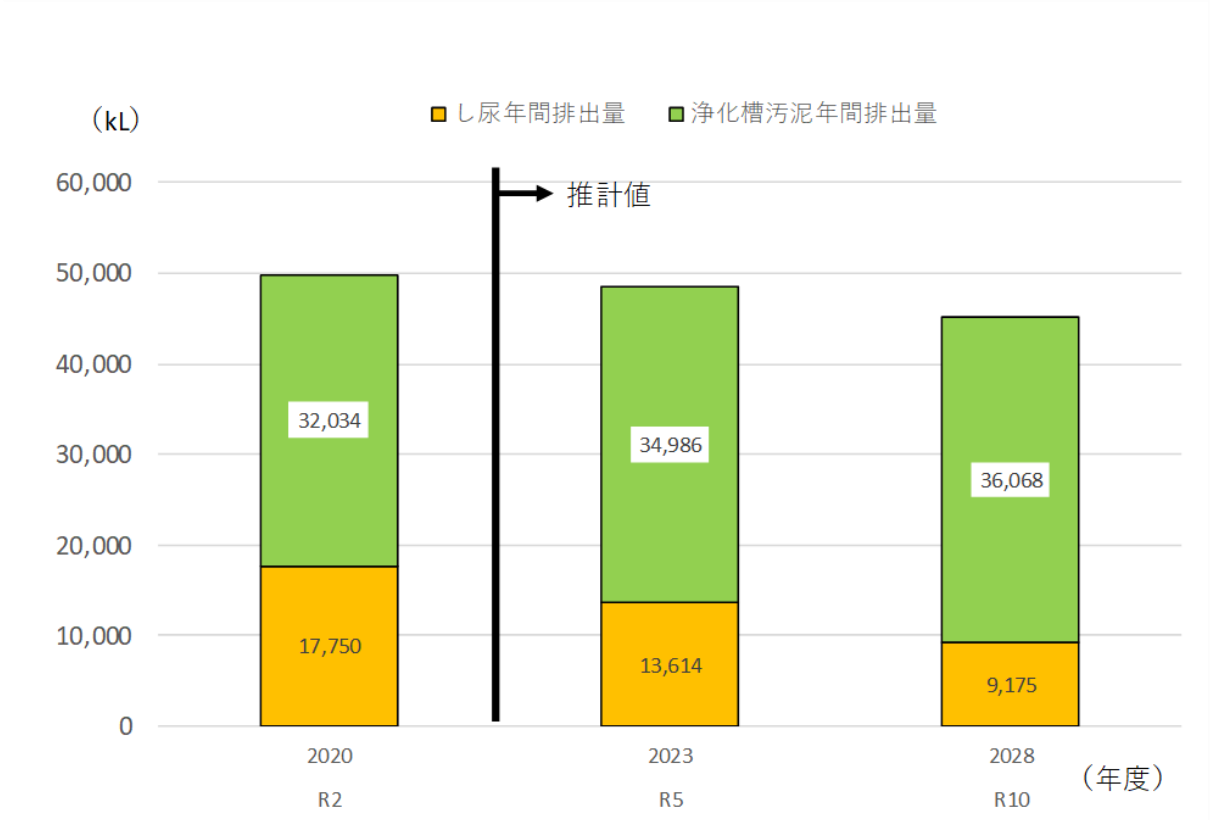
添付資料２-１　処理形態別人口の予測値

項　　目	単位	実績←	→推計	
		R2	R5	R10
		2020	2023	2028
行政区域内人口	人	46,528	46,324	44,517
計画処理区域内人口	人	46,528	46,324	44,517
非水洗化人口	人	12,634	9,417	6,364
し尿収集人口	人	12,634	9,417	6,364
自家処理人口	人	0	0	0
水洗化人口	人	33,894	36,907	38,153
コミュニティプラント人口	人	755	744	714
合併処理浄化槽人口	人	28,964	32,430	34,917
単独処理浄化槽人口	人	4,175	3,733	2,522
汚水衛生処理率	%	63.87	71.6	80.0
汚水衛生処理人口	人	29,719	33,174	35,631
汚水衛生未処理人口	人	16,809	13,150	8,886



添付資料２-２　し尿及び浄化槽汚泥の排出量の予想値

項　　目	単位	実績←	→推計	
		R2	R5	R10
		2020	2023	2028
し尿年間排出量	kL/年	17,750	13,614	9,175
一日排出量	kL/日	48.63	37.30	25.14
浄化槽汚泥年間排出量	kL/年	32,034	34,986	36,068
一日排出量	kL/日	87.77	95.85	95.82
総排出量	kL/年	49,784	48,600	45,243
一日排出量	kL/日	136.40	133.15	123.96



様式1

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画　総括表1

1　地域の概要

(1)地域名	田川市	(2)地域内人口	46,528	(3)地域面積	54.55km
(4)構成市町村等名	－	(5)地域の要件※	人口　面積　沖縄　離島　奄美　豪雪、山村　半島　過疎　その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村：－ 設立されていない場合、今後の見通し：－	設立(予定)年月日：－			

*交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2　一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位 ＼ 年		過去の状況・現状(排出量等に対する割合)						目　標
		令和　年度	令和　年度	令和　年度	令和　年度	令和　年度	令和　年度	令和　年度
排出量	事業系　総排出量(トン)							
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)							
	生活系　総排出量(トン)							
	1人当たりの排出量(kg/人)							
	合計　事業系生活系の総排出量合計(トン)							
再生利用量	直接資源化量(トン)							
	総資源化量(トン)							
エネルギー回収量	エネルギー回収量　(年間の発電電力量　MWH)							
	(年間の熱利用量　GJ)							
最終処分量	埋立最終処分量(トン)							

※　別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

一般廃棄物処理計画と目標値が異なる場合に、地域計画と一般廃棄物処理計画との整合性に配慮した内容

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

(1)現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
コミュニティ・プラント	星美台汚水処理場	田川市	膜分離活性汚泥方式(セラミック膜)	338㎥/日	平成10年4月	令和5年11月	令和6年4月	(浸水深3m)施設が浸水で稼働できなくなった場合、各家庭から流入する汚水を衛生管理委託業者が衛生車にて施設の原水槽から直接くみ取り、田川地区クリーンセンターへ搬出・処理するように依頼する。	
し尿処理施設	田川地区クリーンセンター	田川地区広域環境衛生施設組合	標準脱窒素処理方式+高度処理	390kℓ/日	令和3年8月			(浸水深0m)浸水の恐れはない	

(2)更新(改良)・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工予定年月	更新(改良)・新設理由	廃焼却施設解体の有無 (解体施設の名称)	廃焼却施設解体事業 着手(予定)年月 完了(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
コミュニティ・プラント	星美台汚水処理場	田川市	長時間曝気	250㎥/日	令和5年11月	維持管理経費削減のため			(浸水深3m)施設が浸水で稼働できなくなった場合、各家庭から流入する汚水を衛生管理委託業者が衛生車にて施設の原水槽から直接くみ取り、田川地区クリーンセンターへ搬出・処理するように依頼する。	

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位		過去の状況・現状						目標
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和　年度	令和9年度
総人口		48,952	48,307	47,759	47,208	46,528		44,878
公共下水道	汚水衛生処理人口	0	0	0	0	0		0
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0	0	0	0	0		0
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0	0		0
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0	0	0	0	0		0
コミュニティ・プラント	汚水衛生処理人口	788	778	770	750	755		720
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6		1.6
合併処理浄化槽	汚水衛生処理人口	28,731	28,769	28,615	28,873	28,964		34,572
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	59	60	60	61	62		77
未処理人口	汚水衛生未処理人口	19,433	18,760	18,374	17,585	16,809		9,586

※ 参考として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付のこと。

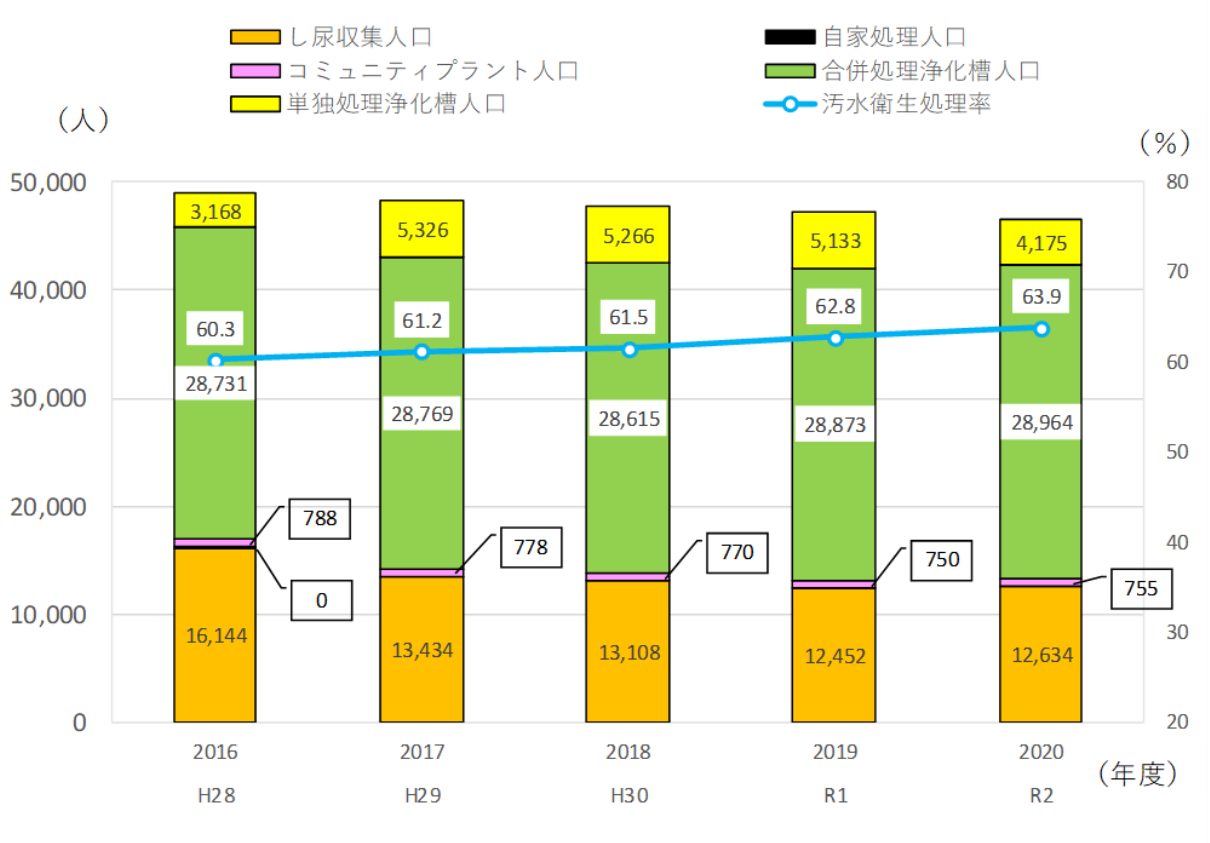
5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年度	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	田川市	4,155	28,964	R1	1,628	4,928	R8	

※ 計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付のこと。

■添付資料３　指標と人口等の要因に関するトレントグラフ

項　　目	単位	H28	H29	H30	R1	R2
		2016	2017	2018	2019	2020
行政区域内人口	人	48,952	48,307	47,759	47,208	46,528
計画処理区域内人口	人	48,952	48,307	47,759	47,208	46,528
非水洗化人口	人	16,265	13,434	13,108	12,452	12,634
し尿収集人口	人	16,144	13,434	13,108	12,452	12,634
自家処理人口	人	121	0	0	0	0
水洗化人口	人	32,687	34,873	34,651	34,756	33,894
コミュニティプラント人口	人	788	778	770	750	755
合併処理浄化槽人口	人	28,731	28,769	28,615	28,873	28,964
単独処理浄化槽人口	人	3,168	5,326	5,266	5,133	4,175
汚水衛生処理率	%	60.3	61.2	61.5	62.8	63.9
汚水衛生処理人口	人	29,519	29,547	29,385	29,623	29,719
汚水衛生未処理人口	人	19,433	18,760	18,374	17,585	16,809



■添付資料４　地域内の施設の現況と予定（位置図）

１　コミュニティ・プラント

【現状】

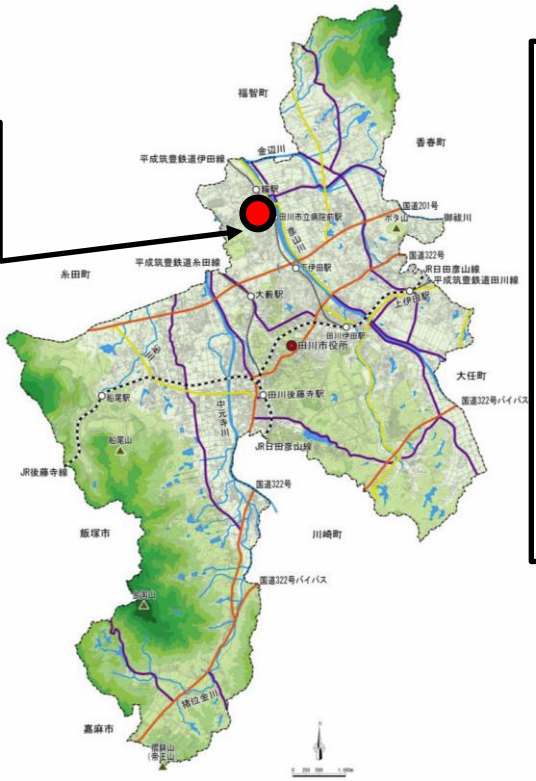
処理能力　338 ㎥/日

竣工　平成 10 年 3 月

【将来】

処理能力　250 ㎥/日

竣工　令和 5 年 11 月



【洪水浸水想定】

1.0ｍ

【対策】

施設が浸水で稼働できなくなった場合、各家庭から流入する汚水を衛生管理委託業者が衛生車にて施設の原水槽から直接くみ取り、田川地区クリーンセンターへ搬出・処理するように依頼する。

2　田川地区クリーンセンター（大任町）

様式２

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表２（令和４年度）

事業種別 事業名称	事業番号 ※１	事業主体名称 ※２	規模	単位	事業期間 交付期間 開始	終了	総事業費（千円）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	交付対象事業費（千円）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
○し尿処理に関する事業							199,997	0	199,997	0	0	0	66,665	0	66,665	0	0	0	
コミュニティ・プラント整備	1	田川市	250	㎥/日	R5	R5	199,997		199,997				66,665		66,665				
○浄化槽に関する事業							1,692,172	465,947	465,615	246,260	263,108	251,242	945,257	251,847	251,515	143,855	152,703	145,337	
浄化槽設置整備		田川市	1,628	基	R4	R8	1,692,172	465,947	465,615	246,260	263,108	251,242	945,257	251,847	251,515	143,855	152,703	145,337	
○施設整備に関する計画支援事業							14,886	14,886	0	0	0	0	14,886	14,886	0	0	0	0	
コミュニティ・プラント整備に関する計画支援事業	2	田川市			R4	R4	14,886	14,886					14,886	14,886					
合計							1,907,055	480,833	665,612	246,260	263,108	251,242	1,026,808	266,733	318,180	143,855	152,703	145,337	

※１　事業番号については、計画本文３(3)表４に示す事業番号及び様式３の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式３に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。

※２　広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。

※３　実施しない事業の欄は削除して構わない。

※４　同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。

様式３

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号※１	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金必要の要否	事業計画					備考
					開始	終了		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
発生抑制、再利用の推進に関するもの	1-1	合併処理浄化槽への切り替え	合併処理浄化槽への転換に対する補助制度を手厚くし、ホームページや広報で情報を発信する。	田川市	R1	R8	－	事業実施					
	1-2	家庭での取組推進	水にやさしい生活を送るための情報発信や、地域学習・環境教育の場における家庭等での取組を推進する。	田川市		継続	－	事業実施					
	1-3	水洗化の普及・啓発	合併処理浄化槽を設置することの必要性について、公共用水域の環境保全と関連付けた広報等を行う。	田川市	H4	継続	－	事業実施					
	1-4	業者との連携	法定検査を含む合併処理浄化槽等の適正な維持管理の重要性について、維持管理業者等と連携して情報交換を行う。	田川市	R1	R8	－	事業実施					
処理体制の構築、変更に関するもの	2-1	生活排水処理の現状と今後	令和元年度から転換に限って補助対象の拡大と補助金額の上乗せを行うなどの拡充を図り、令和１０年度末の汚水衛生処理率８０％を目指す。（平成３０年度末61.5%）	田川市	R1	R8	－	事業実施					
	2-2	今後の処理体制の要点	老朽化したコミニティ・プラントの処理施設の更新を行う。	田川市			－						
処理施設の整備に関するもの	1	星美台汚水処理場改築工事	維持管理経費削減のためコミュニティ・プラントの改築を行う。	田川市	R5	R5	○		事業実施				
	2	浄化槽設置整備事業	浄化槽の整備を推進し、公共用水域の環境保全を行う。	田川市	R1	R5	○	事業実施					
	3	その他地方単独事業	浄化槽の整備を推進し、公共用水域の環境保全を行う。	田川市	R1	R5	○	事業実施					
施設整備に係る計画支援に関するもの	4	生活環境調査（環境アセスメント）業務	設置予定地において生活環境影響調査を行う。	田川市	R4	R4	○	事業実施					
		星美台汚水処理場改築設計委託業務	当該施設の改築に伴う設計業務等を行う。	田川市	R4	R4	○	事業実施					

※１　処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文３(3)表４に示す事業番号及び様式２の事業番号と一致させること。

【参考資料様式６】

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名　福岡県

(1)　事業主体名	田川市
(2)　施設名称	星美台汚水処理場
(3)　工期	令和５年度　～　令和５年度
(4)　施設規模	処理能力　250㎥/日
(5)　形式及び処理方式	長時間曝気方式
(6)　地域計画内の役割※１	老朽化及び汎用性のない設備機器の交換費用が嵩み、維持管理経費が年々増加しているため、汚水施設使用料収入で維持管理費用を賄える施設を改築する。
(7)　廃焼却施設解体工事の有無	有　（無）

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8)　資源化の方法	
(9)　資源化物の利用計画	

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10)　計画処理人口及び面積	人口　744人 面積　89,090.59㎡
(11)　計画地域の性格	星美台地区の安定した汚水処理を行うもの。

(12)　事業計画額	199,997千円

※１　し尿処理施設の基幹的設備改良事業を実施する場合は、二酸化炭素の削減率を記載すること。また、汚泥再生処理センターを整備する場合は、し尿・浄化槽汚泥と併せて処理する生ごみ等の有機性廃棄物が何であるかを記載すること。

【参考資料様式７】

施設概要（浄化槽系）

都道府県名　福岡県

(1)　事業主体名		田川市
(2)　施設名称		浄化槽設置整備事業
(3)　事業の実施目的及び内容		公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽を設置する者に対し、設置整備費に係る補助金交付を行うものである。
(4)　事業期間		令和４年度　～　令和８年度
(5)　事業対象地域の要件		過疎地域
(6)　事業計画額		交付対象事業費　1,050,393千円 うち ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 1,028,457千円 ・防災拠点単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費 21,936千円

○　事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 （4,928人分）	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	1,011基（2,395人分）	335,652千円	708,152千円	335,652千円
6~7人槽	506基（1,114人分）	209,484千円	408,984千円	209,484千円
8~10人槽	43基　（99人分）	23,564千円	40,064千円	23,564千円
11~20人槽	21基　（229人分）	19,719千円	28,219千円	19,719千円
21~30人槽	34基　（553人分）	50,048千円	64,048千円	50,048千円
31~50人槽	20基　（538人分）	40,740千円	48,740千円	40,740千円
51人槽以上	基（　　人分）	0千円	0千円	0千円
宅内配管費	822基	246,600千円	258,920千円	258,920千円
撤去費	822基	81,810千円	90,330千円	90,330千円
改築費（災害）	基			
改築費（長寿命化）	基			
浄化槽整備 効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び 管理適正化推進費			
合計	1,628基（4,928人分）	1,007,617千円	1,647,457千円	1,028,457千円

【参考資料様式８】

計画支援概要

都道府県名　福岡県

(1)　事業主体名	田川市		
(2)　事業目的	星美台汚水処理場施設整備のため		
(3)　事業名称	生活環境調査（環境アセスメント）業務	星美台汚水処理場改築設計委託業務	
(4)　事業期間	令和４年度　～ 令和４年度	令和4年度　～ 令和4年度	令和　　年度　～ 令和　　年度
(5)　事業概要	設置予定地において生活環境影響調査を行う。	当該施設の改築に伴う設計業務等を行う。	

(6)　事業計画額	7,282千円	7,604千円	